

地域おこし協力隊等ネットワーク化オンラインワークショップにおいて寄せられた意見について（令和3年9月2日時点版）

令和3年8月から9月にかけて実施している、地域おこし協力隊ネットワーク化オンラインワークショップにおいて寄せられた、ネットワーク機能に対する意見について、分類と一部具体的意見を紹介します

1 日時及び参加者数

令和3年8月31日（火）13：30～16：00（県南地域） 9名
令和3年9月 2日（木）13：30～16：00（沿岸地域） 17名

2 寄せられた意見の分類《ワークショップ②テーマ ～ネットワークに期待すること～》

(1) ネットワークに期待する機能、活動内容

- ア 交流機会の提供
- イ 相互連携（コラボ企画等）の機会の提供
- ウ ネットワークへの相談
- エ 隊員向け情報提供、研修の実施
- オ 新規隊員受入時の支援、自治体支援
- カ 隊員等活動の見える化

3 意見（一部のみ抜粋）

(1) ネットワークに期待する機能、活動内容

ア 交流機会の提供

- ・地域おこし協力隊制度に対する疑問が生じたときに相談できる場所
- ・専門的な分野やカテゴリーごとに、相談できる人を知りたい
- ・世代ごとに分かれて話せる場が欲しい（世代ごとの悩みの共有）
- ・業務内外問わない話し相手（まじめな議論をしない関係も必要）
- ・活動事例をデータベース化して、各隊員の活動に役立てるようにできると良いのではないか
- ・交流板については SNS ではなく、ポータルサイトのような形が望ましい
- ・他の地域に視察等に行きたい
- ・ここに行けば誰がいる！という、実際のたまり場のようなものもあるとよい

イ 相互連携（コラボ企画等）

- ・他地域とのコラボレーション

- ・移住先自治体で何らかの事情により没になった企画も、他自治体では有用であったりする可能性がある
- ・「今これやってるけど、一緒にやってくれる人！」という求人募集掲示板があったらよいと思う
- ・ちょっとした仕事の受発注

ウ ネットワークへの相談

- ・地域おこし協力隊お悩み相談室
- ・各地域において、地域おこし協力隊向けのコーディネーターの役割を担ってもらえると、相談等がしやすい可能性

オ 隊員向け情報提供、研修等

- ・任期終了後に備えての動きを知りたい
- ・テーマごとの勉強会の実施

カ 新規隊員受入時の支援、自治体支援等

- ・協力隊を検討している方々にもネットワーク上の部分情報公開で、「岩手」の選択肢が広がるのではないか
- ・新たに隊員になった人が直面する課題について、経験者からの助言
- ・隊員のサポートよりも、受け入れ自治体職員の研修・サポートが重要と思う

キ 隊員等活動の見える化

- ・それぞれの隊員が過去行っていた仕事や活動が見える化すると、悩みを共有して解決できたり、仕事を一緒にできたりするのではないか
- ・メディア化（地域へ見える化）

※ 本資料で紹介した御意見は、多数ある中の一部です。地域おこし協力隊ネットワーク化検討会議では、ワークショップ及びアンケートにていただいた御意見を踏まえ、ネットワークの機能、活動内容等を検討してまいります。